

新潟中越震災地域における生産・生活再建のための計画手法開発

1 中核機関・研究総括者

新潟大学 有田 博之

2 研究期間

2005～2006 年度（2 年間）

3 研究目的

中越大地震は農村地域に発生し、農地崩壊、ライフライン破壊による地域孤立、住宅・農舎の破壊等が広範に生じた。震災から農業・農村が復興するには、地域の生産・生活活動の復興に役立つ対策を遅滞なく組織的・効果的に行うことが求められている。このため、災害の具体的な内容把握に基づく組織的な対策・支援を行う計画システムを開発する。

4 研究内容及び実施体制

- ① 災害時の行政対応システムの確立（新潟大学、香川大学、東京大学、富山県立大学）
- ② 地震の被災状況の空間的評価に基づく土地利用計画策定手法の開発（愛媛大学、信州大学、東京大学）
- ③ 地域特性を踏まえた生産環境施設の復旧・再編手法の開発（新潟大学、香川大学、信州大学、富山県立大学）
- ④ 安全を考慮した生活環境施設の復旧・再編手法の開発（新潟大学、愛媛大学、信州大学、富山県立大学、（独）農業工学研究所）
- ⑤ 災害時における地域コミュニティの役割解明（（独）農業工学研究所、茨城大学、東京大学）
- ⑥ 震災時の生産・生活復興マニュアルの作成（新潟大学、茨城大学、愛媛大学、香川大学、信州大学、東京大学、富山県立大学、（独）農業工学研究所）

5 目標とする成果

震災後の応急的・短期的な復興対策に視点を置き、計画的な地域復興手法の提案を行うことを目標とする。また、現場要求を考慮し、毎年度の成果を現場の復興対策に提供する。これによって、災害後の農業・農村の効率的・効果的な復興方策を明らかにできるほか、マニュアル化は、中越地域の復興だけでなく、他地域の災害対策にも役立つことが期待される。

新潟中越震災地域における生産・生活再建のための計画手法開発



[研究の目的]

復興対策の技術



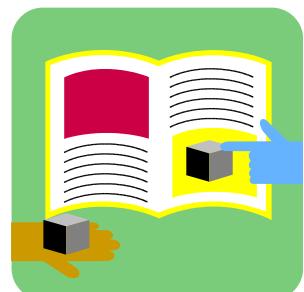
- ・農業生産基盤の再建手法の開発
- ・土地利用の再編手法
- ・コミュニティの再建手法の開発

復興対策の企画手法



- ・災害の空間特性の把握手法開発
- ・復興計画の策定経験の再構築によるシステム開発

マニュアル化



- ・生産・生活再建のマニュアル作成

被災地の再興



[研究の成果]

生産・生活の復興によって被災地域の復興・活性化を図るための、工法および農村地域の計画手法開発